

# 病院と地域をむすぶ



# パイプライン



2018年5月号

発行：2018.5.11 総合病院 南生協病院  
電話番号 052-625-0373

研修医

四月

一日外来患者数：799.6人 一日入院患者数：253.3人  
ベッド稼働率：80.9% 救急車：166台 手術数：119件

## 2018年度初期研修スタートしました

### 研修プログラムスタート

2018年度初期研修がスタートしました。当院では多様な研修プログラムをご用意しております。4/19 事業所めぐり見学を行いました。

“地域医療”を学ぶ原点がここにあり、地域の方々とふれあい、学び、体験の場となり、みんないい笑顔でお話しておりました。地域の方々の安心したまちづくりや健康づくりへの思いをおひとりおひとりから感じる事ができたのではないのでしょうか。

4/27 講師：鈴木 富雄先生（大阪医科大学 地域総合医療科学寄付講座特任教授）「ドクターGカンファレンス」と「POMR（問題志向型診療録）はじめの一步」を講義いただきました。



### 病院からのお知らせ はしかかも？

「身体に赤い発疹」「はしかかも？」  
心当たりの方は、**受付で事前**に  
お申し出下さい。

はじめに高熱、その後発疹、口の中のざらつきなどの症状が出ます。  
受診の時は事前にお電話下さい。感染拡大しない様に受診方法をお知らせします。

ふれあいルームで5月31日までイラスト展実施中



★5月から、職員のクールビズを実施しております。ご理解をお願いします。

# 今年の医療活動発表から

## 4A病棟の業務改善を紹介します(カイゼンで仕事がしやすくなった!)

病棟では、より働きやすく、よりよい看護を提供できる様に2017年4月に業務改善プロジェクト担当スタッフをつくり、スタッフへアンケートをとり業務改善に取り組みました。

〈 取組み内容 〉

〈 業務改善内容一例 〉

- ①担当スタッフでどう改善していくか話し合い、スタッフにアンケートを取った
- ②日勤、夜勤、早番、遅番と勤務ごとのアンケートを全員に記入依頼
- ③結果をまとめ、職場会議で検討
- ④その内容を全員にわかる様に一覧にまとめた用紙を配布

	★要望★		★改善したこと★
日勤	オムツ交換をチームで行ってはどうか	➡	処置はチームで行う
	オムツ交換は朝9時も全員行う	➡	2点体交以外の方は枕抜きのみ
夜勤	必要度や摂食嚥下入力を日勤にできないか?	➡	夜勤ではなく日勤で入力する
	下膳を遅番に依頼したい	➡	夕食下膳は遅番が中心で患者移送は夜勤者で実施
	採血で残業になることが多い	➡	至急採血など夜勤で行わなくてはいけないこと以外は日勤者で採血する
遅番	一人で移乗することが難しい人の移乗が遅くなってしまう	➡	担当看護師と声かけ行い協力しながら行う
			e t c .

〈 結果 〉

職員の残業削減に効果があり「やりきった」という達成感をみんなで共有できました。

## 認定・専門看護師を紹介します

地域住民のニーズに沿った手術看護の提供を目指し、手術看護認定看護師を取得しました。しかし認定看護師は約6カ月の研修期間であり、将来の高齢手術患者の増加を考え、大学院博士前期課程高齢者看護学を修了し、以前から疑問に考えていた『高齢者の手術への自己決定』を周術期看護師が支援することの重要性を学びました。手術看護に関する疑問を解決するために現在手術室スタッフと共に看護研究活動に取り組んでおります。実践と研究から得られた学びを地域住民に看護で還元することが日々の目標であります。

手術室 川上 将

